

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	堤根余熱利用市民施設	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 株式会社明治スポーツプラザ ・代表者名 石原 良太郎 ・住所 川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア西館5階	評価者	減量推進課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	環境局生活環境部減量推進課

2. 事業実績

利用実績	平成24年度は、平成23年度に比べて開館日数が多かったため、プール利用者は平成23年度に比べて約2万4,000人増加した。また、老人休養施設についても約5,000人増加した。(堤根余熱利用市民施設別紙資料参照)
収支実績	指定管理業務に係る収入については、水泳教室の拡充等により平成24年度予算と比較して約6%多い約8,770万円であった。指定管理業務に係る支出については、水道光熱費等の縮減により、平成24年度予算と比較して約16%少ない約7,010万円であった。結果として、指定管理業務及び自主事業合計の収支は約1,770万円の黒字であった。(堤根余熱利用市民施設別紙資料参照)
サービス向上の取組	体調不良等の突発的事情に配慮した水泳教室の振替制度を実施するなどサービスの利用促進に向けて業務改善を図っている。利用者からの要望を踏まえ、水泳教室のコース数を拡充するなど、サービス向上の取り組みを行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	14	4	11.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか。			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか。	8	3	4.8
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 利用者の要望を常に収集できるようアンケート箱を設置することにより声を集約し、毎日のミーティングの議題とすることで現場職員へ利用者の声を還元し、日々の接客に活用するとともに、利用者に係る改善すべき事項について速やかに対応している点や、年1回モニタリング調査を実施することで利用者の声を収集・分析し、結果を踏まえた対応を継続的にを行い、接客について好評を得ていることは評価できる。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8
		支出に見合う事業が行われているか。			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	4	4	3.2
	適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。	6	2	2.4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) 指定管理業務に係る収入については、水泳教室の拡充等の収入増加の取組により、平成24年度予算と比較して約6%多い約8,770万円であり、また、指定管理業務に係る支出については、水道光熱費等の縮減により、平成24年度予算と比較して約16%少ない約7,010万円であるなど、収入の確保や経費縮減の取組がされていることは評価できる。しかし一方で、指定管理経費とその他業務(自主事業)に係る区分経理が不十分だったことを原因として、適切な月次収支報告がされていないことが判明した。平成24年度中に改善が図られたが、指定管理者は金銭の適正な管理及び正確な収支報告を徹底するよう留意しなければならない。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	4	5.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。	5	4	4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	5	4	4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) 体調不良等の突発的事情に配慮した水泳教室の振替制度を実施するなどサービスの利用促進に向けて業務改善を図っている。利用者からの要望を踏まえ、水泳教室のコース数を拡充するなど、ニーズを施設運営に反映させている点は評価できる。また、利用者の声を翌日のミーティングの際に議題とするなど、日常的な利用者ニーズの把握、業務改善に努めている点も同様に評価できる。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	4	6.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	4	1.6
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2	
(評価の理由) 責任ある職員を必ず常駐させる体制をとっているほか、CPR(心肺蘇生法)研修やMFA(メディックファーストエイド/応急救護手当)講習会を年2回実施し、適切な資格を持った者を配置していることや、トランシーバーの使用により連絡相談のスピード化を図るとともに、事務所内に緊急マニュアルを貼付し、有事の際に迅速に対応ができるよう備えているなど利用者の安全に配慮した運営を行った点は評価できる。また、平成24年度から全職員に出勤時にCPR(心肺蘇生法)訓練を義務付けるなど、利用者の安全確保を目的として従業員にスキルを浸透させる取組が行われていることも評価できる。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	20	3	12
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 日常定期点検を行い、施設点検委託先とは常に連絡を取り早期対応しており、適切な実施が行なわれている。また、施設スタッフと設備管理業者双方で業務日誌を作成しており、管理についても適切である。そのほか、利用者からの声を反映し、更衣室の清掃頻度を1時間に1回行っているなど、利用者が快適に利用できる環境を維持している。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	70.8	評価ランク	C
-------	------	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理業務に係る収入については、水泳教室の拡充等の収入増加の取組により、平成24年度予算と比較して約6%多い約8,770万円であり、また、指定管理業務に係る支出については、水道光熱費等の縮減により、平成24年度予算と比較して約16%少ない約7,010万円であるなど、収入の確保や経費縮減の取組がされていることは評価できる。しかし、平成24年度中に改善が図られたものの、指定管理経費とその他業務(自主事業)に係る区分経理が不十分だったことを原因として、適切な月次収支報告がされていなかったことが判明した。体調不良等の突発的の事情に配慮した水泳教室の振替制度を実施するなどサービスの利用促進に向けて業務改善を図っている。利用者からの要望を踏まえ、水泳教室のコース数を拡充するなど、ニーズを施設運営に反映させている点は評価できる。また、全職員に出勤時にCPR(心肺蘇生法)訓練を義務付けるなど、利用者の安全確保を目的として従業員にスキルを浸透させる取組が行われていることも評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

利用者のニーズを取り入れながらプールや老人休養施設に関する事業を行うことで、市民の健康増進や福祉の向上に寄与するという施設の設置目的に沿った事業運営を引き続き実施してほしい。また、利用者の安全・安心に関する取組について、平成24年度から実施した全職員に出勤時にCPR(心肺蘇生法)訓練を義務付けを引き続き実施するなど、今後も利用者が安心して利用できるような運営体制を継続してほしい。平成24年度中に改善が図られたものの、指定管理経費とその他業務(自主事業)に係る区分経理が不十分だったことを原因として、適切な月次収支報告がされていなかったことが判明したことから、指定管理者は金銭の適正な管理及び正確な収支報告を徹底するよう留意すること。

## 堤根余熱利用市民施設別紙資料

### 堤根余熱利用市民施設開館日数・1日当たり利用者数

	H24年度	H23年度	H22年度
温水プール	311日	217日※2	304日※2
（1日辺り利用者）	354人	397人	358人
老人休養施設	310日	241日※3	339日※3
（1日辺り利用者）	114人	128人	127人
1日当たり利用者合計	468人	525人	485人

※1…処理センター点検に伴う温水プール、老人休養施設長期休館 H25.1/12～2/20

温水プール休館日を1日特別営業

※2…改修工事等に伴う温水プール長期休館 H23.10/26～11/19、12/5～H24.3/31

※3…改修工事等に伴う老人休養施設長期休館 H23.12/5～H24.3/31

### 堤根余熱利用市民施設利用者実績

利用者人数

単位：人

	H24年度	H23年度	増減	H22年度 (参考)
温水プール	110,150	86,145	24,005	108,960
老人休養施設	35,566	30,868	4,698	43,123
合計	145,716	117,013	28,703	152,083

### 堤根余熱利用市民施設収支決算

単位：円

		H24年度予 算	H24年度 決算	H23年度 決算	増減額	増減率 (%)	H22年度 決算 (参考)
収入	①事業活動収入	82,837,422	87,676,625	62,206,241	25,470,384	140.9%	76,576,289
	指定管理料収 入	55,477,422	55,477,422	39,546,960	15,930,462	140.2%	47,580,000
	利用料金収入	19,500,000	19,945,000	15,375,970	4,569,030	129.7%	19,229,584
	その他収入	7,860,000	4,962,143	7,283,311	2,321,168	68.1%	9,766,705
	②自主事業収入	325,000	420,830	666,125	245,295	63.1%	0
	合計①+②	83,162,422	88,097,455	62,872,366	25,225,089	140.1%	76,576,289
支出	③事業活動支出	83,160,000	70,115,135	61,286,835	8,828,300	114.4%	70,147,569
	④自主事業費支 出	0	252,498	0	252,498		0
	合計③+④	83,160,000	70,367,633	61,286,835	9,080,798	114.8%	70,147,569
収支差額			17,729,822	1,585,531	16,144,291	1118.2%	6,428,720